

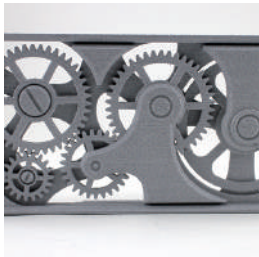


アルマイド

耐熱性と剛性に優れた樹脂です。

機能モデルやケース、アクセサリなど幅広い用途に向いています。

材質の特徴



アルマイドは多孔質で 130℃までの耐熱性のある、剛性のあるプラスチック材料です。

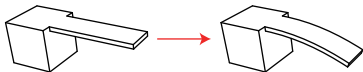
この素材は粉末のポリアミド（PA12）と少量のアルミニウム粉末を混ぜ合わせているため、表面が金属的でマットな印象になるが、その分ポリアミドよりも強度が落ちます。



カラーはナチュラル、ブラック、レッド、オレンジ、ブルー、グリーンがあります。

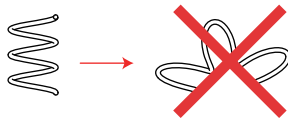
ナチュラル以外は染色にて色付けをします。

デザインの秘訣



平面の面積が大きいものは造形中に歪みが出てしまいます。

リップなどを立てても問題は解決できませんので、できる限り大きな平面を避けることをお勧めします。



アルマイドには柔軟性はありません。

硬質な素材となるため、バネ構造には不向きです。

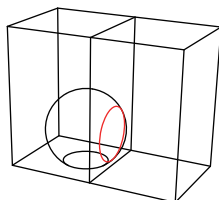


モデルの形状やトレー内の配置によって造形段差が発生してしまいます。これは SLS 方式の 3D プリンターでどうしても発生してしまう現象です。



可読性の高い文字を作るためには彫り込みは 1.0mm 以上の深さで文字の太さは 1mm 以上である必要があります。

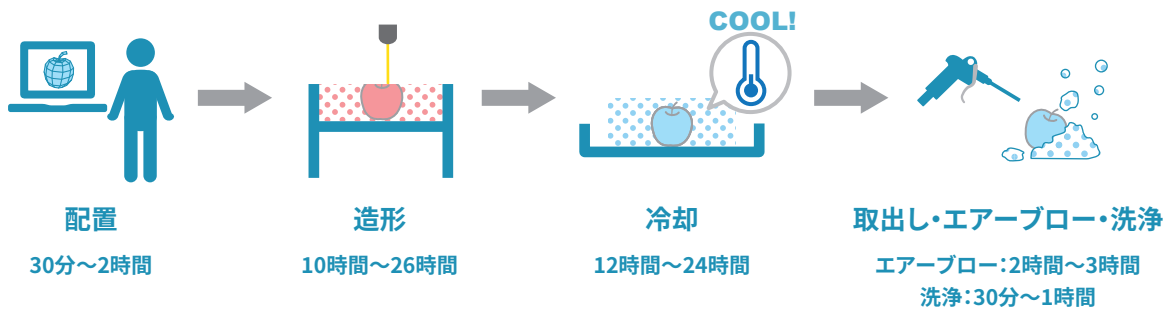
浮き彫りの場合は 0.8mm 以上の高さで文字の太さも同様に 0.8mm 以上の幅が必要となります。それ以下でも造形は可能ですが、可読性が落ちてしまいます。



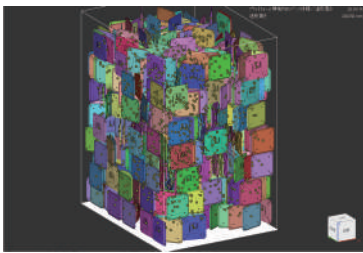
造形に使用される 3D プリンターは 2 機のレーザー照射装置が搭載されており、庫内の中間に配置されたモデルには照射痕と呼ばれる痕が発生します。

一片が 200mm を超える大型の造形物には照射痕が発生するリスクが高まりますのでご留意下さい。

造形の主な工程と所要時間目安※データの形状や量によって異なります



造形方式ごとの配置の特徴（SLS方式）



SLS方式では、モデルは未硬化の粉末の中に埋まるように造形されます。粉末がサポートの役割を果たすため、ナイロンやプラスチック粉末などの軽いマテリアルを使用するSLSは立体配置が可能です。高熱による変形を防ぐため、配置全体の密度を均一に調整します。また変形や歪みを防ぐため、モデルの形状に合わせて個別に角度を調整する必要があります。

造形方式ごとのサポート除去の特徴（SLS方式）



SLS方式では固まっていないモデル材（粉末）がサポート材の役割となります。取出し後に残った粉はエアで吹き飛ばします。エアが届けば中空形状でも粉を抜くことが可能です。微細形状は粉を吹き飛ばす際に破損しやすいので注意が必要です。エア後のモデルは粉っぽいため、洗い流します。

当社が定める造形方向と造形方向指定について

造形時の配置方向により製造負荷が高まる場合、装置の寿命低下と歩留まりに大きく影響がございます。その為、当社が定める造形方向は装置への負担を低下させることを基本としています。

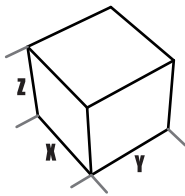
上記条件の中で最大限変形が抑制される配置方向を検討し造形を行なっておりますが、お客様のご利用目的によって本内容が即さない場合は造形方向指定オプション(有料)をご依頼ください。

造形方向の指定は製造負荷が上がってしまう為、その分の費用をご負担頂く事をあらかじめご了承ください。

造形が不可能な方向でご指定頂いた場合、方向指定をお断りさせていただく可能性がございます。また、お客様のご希望の方向で造形した場合でも、歪みや変形を起こす可能性がございますことをご了承ください。

造形方向指定を頂いていない場合のサポート箇所由来する再造形はお受けしておりません。

最大造形可能サイズ



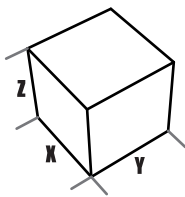
アルマイド
200mm x 200mm x 200mm
アルマイド (カラー)
100mm x 100mm x 100mm

アルマイドの最大造形可能サイズはプリンターの造形可能領域で決定されています。

モデルのサイズはこの範囲内に収まっていなければなりません。

もし作成したモデルがこの範囲に入らない場合、「モデルのスケールを小さく変更する」「不必要な部位を取り除く」等の修正を検討、もしくはより大きなモデルが造形可能なマテリアルの使用を検討して下さい。

最小造形可能サイズ



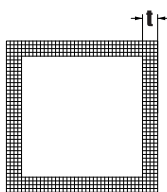
アルマイド/アルマイド (カラー)
 $X + Y + Z \geq 30.0\text{mm}$

アルマイドの最小サイズはプリンターが造形できる最小寸法で決定されています。

造形可能とする為にモデルのサイズは最小造形可能サイズより大きくして下さい。

もし作成したモデルがこの大きさより小さい場合、「モデルのスケールを大きく変更する」「厚みを増やす」「結合が可能な部位は結合する」「パーツや各部位を大きくする」などの修正を検討、もしくはより小さなモデルが造形可能なマテリアルの使用を検討して下さい。

支えられた壁の最小肉厚



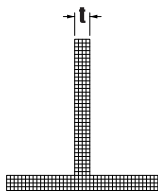
アルマイド/アルマイド (カラー)
 $t=1.0\text{mm}$

"支えられた壁"とは2つ以上の側面が他の壁に接続されている壁のことを言います。

アルマイドの"支えられた壁"の最小肉厚は粉状のサポート材からモデルを取り外し、クリーニングする際の難易度で決められています。壁が薄すぎるとこの処理中に破損してしまいます。

また短軸が直軸の10%以下の長さになると歪みが大きくなります。

支えられていない壁の最小肉厚



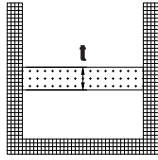
アルマイド/アルマイド (カラー)
 $t=1.0\text{mm}$

"支えられていない壁"とは1つの側面のみが他の壁に接続されている壁のことを言います。

アルマイドの"支えられていない壁"の最小肉厚は粉状のサポート材からモデルを取り外し、クリーニングする際の難易度で決められています。壁が薄すぎるとこの処理中に破損してしまいます。

また短軸が直軸の10%以下の長さになると歪みが大きくなります。

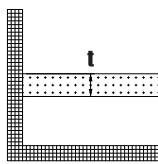
支えられた線形状部の最小肉厚



アルマイド/アルマイド (カラー)
t=1.0mm

"支えられた線形状部"とは両端が壁で支えられた"線形状部"のことであり、"線形状部"とは長さが幅の5倍以上ある部位のことです。
アルマイドの"支えられた線形状部"の最小肉厚は粉状のサポート材からモデルを取り外し、クリーニングする際の難易度で決められています。線が細すぎるとこの処理中に破損してしまいます。
また短軸が直軸の10%以下の長さになると歪みが大きくなります。

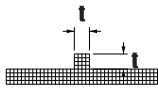
支えられていない線形状部の最小肉厚



アルマイド/アルマイド (カラー)
t=1.0mm

"支えられていない線形状部"とは1つの端のみが壁で支えられた"線形状部"のことであり、"線形状部"とは長さが幅の5倍以上ある部位のことです。
アルマイドの"支えられていない線形状部"の最小肉厚は粉状のサポート材からモデルを取り外し、クリーニングする際の難易度で決められています。線が細すぎるとこの処理中に破損してしまいます。
また短軸が直軸の10%以下の長さになると歪みが大きくなります。

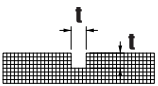
浮き彫りのディティールの最小値



アルマイド/アルマイド (カラー)
t=0.8mm
(幅と高さ両方共)

"浮き彫りのディティール"とはサーフェスから突き出た箇所のことです。
アルマイドの"浮き彫りのディティール"はプリンターの最小分解能で決まっています。ディティールがこの最小値を下回る時はプリンターはこの部位を正確に造形することが出来ません。

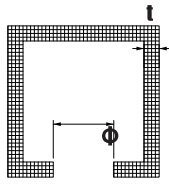
彫り込みのディティールの最小値



アルマイド/アルマイド (カラー)
t=1.0mm
(幅と高さ両方共)

"彫り込みのディティール"とはサーフェス内に落ち込んだ箇所のことです。
アルマイドの"彫り込みのディティール"はプリンターの最小分解能で決まっています。ディティールがこの最小値を下回る時はプリンターはこの部位を正確に造形することが出来ません。

■ マテリアル用抜き穴の最小値



アルマイド / アルマイド (カラー)

抜き穴が 1 つのモデル
 $\Phi \geq 4\text{mm}$

抜き穴が 2 つ以上のモデル
 $\Phi \geq 2\text{mm}$
 $t = 1.5\text{mm}$

モデルが 50mm x 50mm x 50mm を
 超える場合複数の抜き穴を設けて下さい。

アルマイドにおけるマテリアル用抜き穴とは、中空モデルから造形されなかったマテリアルを取り除くための穴です。

モデルが中空部を含んでいる場合、モデルが造形トレーから取り出されてもその中空部にマテリアルが残ったままになっています。中空部のマテリアルを取り除くには抜き穴が必要ですが、穴が小さいと中身を綺麗に取り除くことが出来ません。

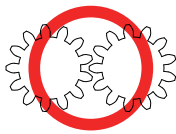
これは特に染色を行うときに重要で、もし内部にマテリアルが残っているとそれらの影響で綺麗に染色できません。また、中空にすることにより造形中の変形や変色を防ぐことが出来ます。

中空モデルを作成する場合はこのマテリアルを取り出すのに十分な抜き穴を作成して下さい。

1 つの抜き穴しかないモデルは中空部分の隅にあるマテリアルを取り除く事が難しいので、モデルの大きさに合わせ抜き穴を複数設けていただくことを推奨します。もし抜き穴がマテリアルを取り除くのに不十分な場合はサイズを大きくするか数を増やして下さい。

また最悪の場合は中空部の削除をお願いさせていただきます。

■ 複数パーツの連動



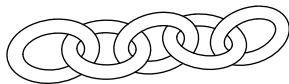
可能

アルマイドは SLS 方式でレーザーによって材料の粉を溶着することで造形します。

よってパーツ間に十分なクリアランスが保たれている場合、複数のパーツを組み合わせることで機械的動作を行うモデルを作成することが可能です。

詳細は「各パーツに必要なクリアランス」の項目をご参照ください。

■ 各パーツに必要なクリアランス



$\text{dim} \geq 1\text{mm}$

■ 精度の目安

高い

$\pm 0.30\text{mm}$

購入後の取り扱いについて

以下の点にご注意下さい

- アルマイド / アルマイドカラーは防水ではありません。
- は水を吸収しません。
- 食べると危険です。口に含む様な用途としてご利用になれません。
- リサイクル出来ません。
- アルマイド / アルマイドカラーの耐熱温度は 130℃です。
それ以上の温度になると材質の特性が大きく変わってしまいます。

アルマイドの歪みについて

アルマイド造形は冷却時に反り、歪みが生じる場合がございます。

特に板状のモデルで発生しやすい現象ですが、SLS方式の3Dプリンターでは発生しうる現象となりますのでご留意下さい。

※反り、歪みによって再現性の低下が著しいと弊社が判断した場合は再造形させていただく場合がございます

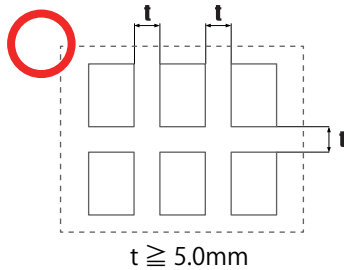
1 ファイル内の複数シェル

100 シェル

3D プリンター内でモデルが立体的に配置される為、最大造形サイズに収まる範囲でパッキングしてください。

詳細は「1ファイル内に複数パーツを配置する場合の注意事項」並びに「造形方式ごとの配置の詳細」をご参照ください。

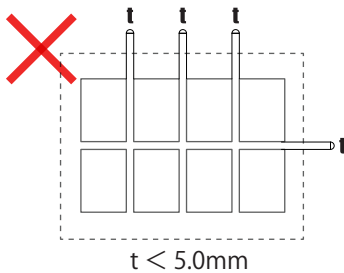
1 ファイル内に複数シェルを配置する場合の注意事項



シェルの間隔と密度に関して

可動部品以外で1ファイルに複数のシェルが含まれている場合、シェルは最低5mm以上の間隔を開けてください。

複数のシェルが含まれたモデルは直方体に納めたときのバウンディングボックス容積とモデル容積の割合を10%未満とさせていただきます。密度が高すぎる場合は装置故障の原因となる為、キャンセルさせていただく可能性があります。

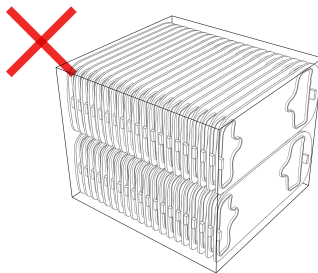


ランナー不可に関して

同一形状のモデルのランナー接続はサポート除去時に不具合や破損を生じる可能性があるためキャンセルさせて頂く可能性があります。

シェルの重なりに関して

データ作成時はシェル同士が重ならないようにご注意ください。重なっているデータはシェルが結合した状態で造形されます。



造形方式ごとの複数シェル配置の方法に関して

造形方式ごとに、モデルを立体的に配置できる方式と平面的にしか配置できない方式がございます。方式に応じた配置でない場合はキャンセルさせていただく可能性があります。

詳細は「造形方式ごとの配置の詳細」をご参照ください。

造形方式ごとのサポート除去に関して

造形方式ごとに造形時のサポート方法とその除去方法が異なります。除去不能な形状の場合はキャンセルさせていただく可能性があります。

詳細は「造形方式ごとのサポート除去の詳細」をご参照ください。

造形時の配置方向に関して

製造時の装置の不具合および造形時の破損を回避するため、お客様がアップロードされた際の3Dデータの配置と製造時の配置は異なる可能性があります。

詳細は「当社が定める造形方向と造形方向指定について」をご参照ください。

複数シェル時の納期に関して

大量に配置されている場合等、条件に応じて納期は変動する可能性があります。